

●期日前投票について

Q.

こんにちは。市役所別館の 2F へ期日前投票に行きました。時刻は午前 10 時半頃です。受付で衆議院議員総選挙の投票所入場券と最高裁判所裁判官国民審査の投票所入場券の 2 枚を同時に出しました。すると受付の人は、これは要らないと言って裁判官国民審査の入場券をごみ箱に捨てました。要らないものを選挙管理委員会が郵便代金を使って送ってきたのでしょうか。私は名前が書いてありますからと抗議したら「じゃあお返ししますね」とガサゴソごみ箱をあさって取り出し返してよこしました。その紙は 4 番の受付けで出して党を書く投票用紙と裁判官国民審査の投票用紙と交換しました。帰宅して新発田市選挙管理委員会に電話したところ、対応した人は勘違いされて説明されていましたが、私の言わんとする事が無事に伝わったのか不安でした。必要なものも必要でないものも区別がつかないような人を受付にすわらせないでください。責任をもってやる人を配置するべきです。そんなに面倒な仕事ではないようですから、始まる前にひととおり説明するのがよいかもしれません。投票率アップを目指しているのに、おそまつな人員配置でした。

(令和 6 年 10 月受付)

A.

御意見をいただきました、御不快な思いをさせていただきましたことにつきまして、まずもお詫び申し上げます。

御指摘のとおり、選挙事務はミスの許されない非常に重要な業務であることから、選挙が実施される度にパソコン研修の実施や事務従事者へ説明を行い、ミスのない事務の遂行を徹底してきたところであります。

しかしながら、この度のこのような御指摘をいただきましたことから、従事者への説明資料の内容を見直すとともに、さらなる従事者への説明の徹底を行い、着実な事務の遂行及び丁寧な説明に努めてまいります。

(令和 6 年 11 月 11 日回答)

※上記の回答内容はすべて回答日時点のものであり、現在とは異なる場合があります。

●投票会場の問題

Q.

昨日の衆議院議員選挙の投票会場にて出口調査を担当し、会場である〇〇学校玄関付近にて終日（7 時半から 12 時間）張り付いていたことを通して感じたことを以下のとおり述べます。本選挙はあくまでも国の機関委任事務であり、この改善するにあたっての予算化は厳しいかと思いますが、ご検討ください。

投票者の割合として 10 代や 20 代前半は 1 割ぐらいで、その少なさには考えさせられました。

→ 高校生や市内及び周辺地域にある高等教育機関への投票周知をやっているのでしょうか？皆無だとしたら、何か手立てをしないと、今後もこの年齢の投票への変化は期待なしかなと思われます。

入場者の半数以上は 70 代以上、そのほとんどの人が足腰不自由。ツエ、車椅子、子どもに抱きかかえながら入場するケースもあり。校舎自体がバリアフリーにはほど遠い作りになっています。子どもたちとは違い、たった 10 センチの段差でもひとりでは上がることが出来ないお年寄りが多いのです。ひとりで入場してくる場合、私自身が出口調査しているのか、お年寄りの世話をしているのかわからなくなりました。つまり高齢者を抱えてあげたり、年寄りの乳母車持ってあげたりするケースが少なくありませんでした。

→〇〇学校の玄関付近のバリアフリー化が中途半端です。駐車場から玄関入り口までを考えると、スロープの設置場所が反対であり遠いです。下駄箱が置いてあるスペースに入る際のバリアフリー化も中途半端です。それなりの段差があります。

投票所のパーキングでは、逆走しそうに車の運転をするお年寄り、足腰不自由なのに運転するお年寄り。世間を騒がせている高齢者の自動車運転を間近に観察できました。ますます交通事故が増えると予想します。

→パーキングの位置を示す路上の白線が不十分です。特に夕暮れ時になると見えにくい。交通事故の原因。加えて〇〇学校の玄関前に大木の切り株が路面に残っており、お年寄りにかかわらず、移動の妨げになっています。赤いパイロン等で囲まれている訳でもない。いつも利用している教職員にとっては問題ないのかもしれませんが、投票所としては適切ではありません。

とは言え、あと 10 年経ったら、どんな世の中になるのでしょうか？ 投票の方法も、根本的に考えないといけない時代です。買い物なら無理してでもタクシーでスーパーマーケットに行かれるお年寄りも少なくありませんが、投票のためにタクシーで来る人は（以下なし）

（令和 6 年 10 月受付）

A.

はじめに、高校生や高等教育機関への投票周知についてですが、高校・大学は、新潟県選挙管理委員会、小・中学校については、市選挙管理委員会が中心となり出前授業や模擬投票を行い、選挙における啓発活動を行っており、令和 6 年度においては、小学校 2 校で出前事業を実施しております。

また、新有権者（新たに 18 歳になった方）に対して選挙制度に関するリーフレットを郵

送し、選挙に対する周知を図っております。

次に〇〇学校のバリアフリー化についてであります。〇〇学校は、有権者の利便性、知名度等の観点から有用な投票所として考えております。しかしながら、当該施設は、普段は子どもたちが中心となり利用する施設であることもあり、御指摘のとおり、現状、投票所としてバリアフリーが十分整っているとは言えない状況であります。そのため、補助が必要な方に対しましては、必要に応じて職員が補助するなど対策を講じてきたところであります。今後も簡易スロープの設置など、有権者の利便性向上に向けた検討を進めてまいりたいと考えております。

次に、駐車場の白線や切り株についてですが、〇〇学校に確認したところ、現状、普段の利用については支障がないとの回答がありましたが、選挙時に有権者の安全面を考慮する必要があることから、切り株の周りを赤パイロン等で囲むなど、対策を講じてまいりたいと考えており、今後も投票環境の改善に努めてまいります。

(令和6年11月7日回答)

※上記の回答内容はすべて回答日時点のものであり、現在とは異なる場合があります。

●新発田市で鉄リングではない、バスケットコートが欲しい。

Q.

現在新発田市では、鉄のバスケットリングしかありません。そこで、新横浜公園内新横浜元石川線高架道路下にあるような雨の日でもできるバスケットコートを作って欲しいです。それにより高架下のスペースの有効活用にもつながると思います。お願いします。

(令和6年10月受付)

A.

近年は、バスケットボール日本代表AKATSUKI JAPANがワールドカップやオリンピックで大躍進を遂げ、チームのキャプテンを務めた本市出身の富樫勇樹選手の活躍もあり、私もバスケットボール人気の高まりを感じており、御提案も非常に大切な視点であると考えています。

しかし、残念ながら、現在、市が管理する高架下の土地には、バスケットコートを確認できる広さがなく、ほかにバスケットコートを設置できそうな場所としては、国道7号新新バイパスの高架下がありますが、その場所を管理する新潟国道事務所へ御提案をお伝えしたところ、雨風の影響を受けやすいことに加え、周辺の車の往来が非常に多く、利用者の安全対策上及び道路管理上、設置することは難しいとのことでありました。

御希望に沿った、雨天時でも利用できる屋外のバスケットコートは整備できませんが、市内には鉄のバスケットリングだけでなく、城北町2丁目にある「みやうら公園」などにネットのリングを設置してありますので、御利用を御検討ください。また、雨天時には、サン・ビレッジしばたなど屋内公共施設を御利用くださるようお願いいたします。

いただいた御提案につきましては、今後のまちづくりにおいて、貴重な御意見として参考にさせていただきたいと思います。

(令和6年11月20日回答)

※上記の回答内容はすべて回答日時点のものであり、現在とは異なる場合があります。

●新発田の植栽

Q.

新発田のまちに適切な植栽をおねがいします。しょうぶ・・・葉の中筋がはっきり。五十公野公園で、あやめ園の名称はだいじょうぶですか???あやめ 綾目がはっきり、全体がぽっちゃり（ばあちゃんの花）五十公野公園の便所のそばのものはあやめ?

（令和6年11月受付）

A.

お手紙を拝見し、植物に深い見識を持ち、市の観光名所である「新発田城址公園」と「あやめ園」につきまして御指摘と心配りをいただいたことに感謝申し上げます。

お問い合わせいただいた御指摘についての見解をお答えいたします。

・新発田城址公園のソメイヨシノについて

御指摘のとおり新発田城址公園のソメイヨシノは、老齢化により樹勢が衰えていることは承知しておりますが、現在のところ植え替える予定はございません。ソメイヨシノの寿命が尽き、植え替える際には、御提案いただいた樹種も参考にしながら、市民の皆様の意見をお聞きし、桜の樹種を選定していきたいと考えております。

・五十公野公園「あやめ園」の名称について

五十公野公園「あやめ園」は、御指摘のとおり、現在のあやめ園でのアヤメとハナシヨウブの割合は1：9でありハナシヨウブがほとんどとなっています。

「あやめ園」の名称ですが、アヤメ、ハナシヨウブ、カキツバタなどのアヤメの仲間を総称して「あやめ」と呼んでおり、市内外の皆様からも「あやめ園」として認識され、親しまれていますことから、名称の変更は考えておりません。御理解くださるようお願いいたします。

（令和6年11月27日回答）

※上記の回答内容はすべて回答日時点のものであり、現在とは異なる場合があります。